

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

御正忌報恩講

一月十五日(火) 午後二時より
十六日(水) 午前九時半・午後二時より

※ お勤め・法話共に、御堂ではなく、
ストロブで暖かくした広間にて行います



今号の法語



お仏壇



移動してくださる

お念仏は

今号の内容

- ・報恩講が勤まりました
- ・福島へ支援米へ活動報告へ
- ・仏事のQ&Aへお香についてへ
- ・除夜の鐘にお越しく下さい
- ・広済寺フェイスブック更新中へ



お仏壇とは、阿弥陀様がご安置されている場所であり、お浄土の世界を表した場所でもあります。お仏壇の前には座ると、阿弥陀様と同じく仏様と成られた先人方が思い起こされます。お念仏を申す中で、私への呼びかけに耳を傾け、自分自身を心静かに省みる、そんな場所がお仏壇なのでしょう。

さて、私たちが仏様の前でお仏壇の前で称える「なんまんだぶつ」のお念仏。親鸞聖人はこのお念仏を、阿弥陀様から私への呼びかけであり、まさに声の仏様となつて私にはたらいているすがたであるとお示しになりました。

「なんまんだぶつ」と称えればそこに必ず仏様のすがたはたらきがある。いつでもどこでも私と共に仏様はおられたのでした。

報恩講が勤まりました

十一月五日(月)・六日(火)に
広済寺において報恩講が勤
まりました。

報恩講とは、浄土真宗の開
祖である親鸞聖人を偲んで
お勤めする、浄土真宗で一番
大切な法要です。

毎年この報恩講をお迎えす
るために、何日も前から沢山



写真左 お齋の様子



の方々が準備をしてくださ
います。今年も綺麗に掃除さ
れ、美しく荘厳された阿弥陀
様のご本堂において、無事報
恩講を勤めることができました。

ご門徒の皆さんと共に作り
上げ、お参りさせていただく
この報恩講。来年も皆でお迎
えさせていただきましょう。

福島へ支援米

活動報告

前号でお願いさせていただい
た福島県相馬地区への支援米
プロジェクトについて報告させ
て頂きます。

お陰さまでたくさんの方々
のご協力により、昨年を上回
る六・八トンものお米が集ま



りました。広済寺門徒の方々
からも一〇〇キロ近くの支援
米をいただきました。本当に
ありがとうございました。

集まったお米は、五キロずつ
袋詰めし、相馬地区の本願寺
派のお寺に届けられました。
支援米は、報恩講などを通
して各門徒さん方に配られ
るそうです。

大震災の記憶が薄れつつあ
る現在、このような活動が福
島の方々の元気に少しでもつ
ながればと思います。



仙事の疑問 Q & A

質問 線香つて立てて焚くのですか？

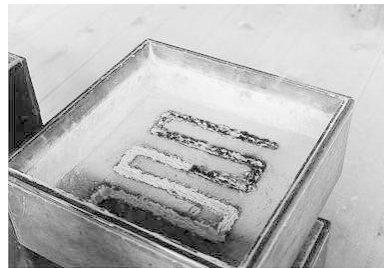
今回は線香の焚き方についてです。

細くて長い線香ですが、立ててみたり、折って寝かせてみたり、色々といわれていますので混乱しがちです。

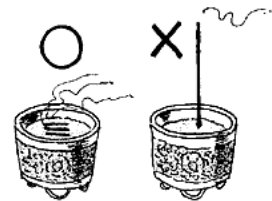
これは宗派による違いなのであり、浄土真宗本願寺派（お西）においては、適当な長さに折って寝かせるのが正しい作法とされています。

線香を折る回数

や折った線香の長さなどは決まっていませんので、香炉の大きさやお勤めの時間などに合わせて適宜調節してください。



写真上 手前にあるのが常香盤



ところで、なぜ線香を寝かせるのでしょうか。

これは「常香盤」といわれるものに由来します。常香盤は現在広済寺においては用いておりませんが、西本願寺の阿弥陀堂などでは平常時のお荘厳として用いられているものです(写真左)。

仏様のお浄土は二十四時間芳しい香りが断えないそうです。

そこでお香を長時間焚くことを目的に考案されたものが常香盤です。常香盤は抹香（まっこう）とよばれる粉末のお香を用います。灰の上に専用器具を使つて抹香を型取り、その一端に火をつけて用います(写真左上)。本願寺では朝から

除夜の鐘

12月31日(月)

午後11時45分～0時45分頃

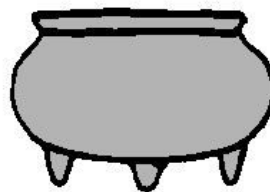
※撞いている間も出入り自由です。

いつでもお越しください。

本堂におられる阿弥陀様にもお参りしましょう。



一日中ついているのだとか。それほど長時間な常香盤ですから、中には時計として用いられたものもあったそうです。このような常香盤に準じて、浄土真宗本願寺派では、お香を寝かせて用いているのです。



広済寺フェイスブック更新中♪

近年爆発的な広まりを見せているフェイスブック。広済寺ホームページをチェックしてくださっている方はもうご存知かと思いますが、実は広済寺フェイスブックページなるものが現在更新中です。

フェイスブックとはインターネットを使った情報交流サービスののようなもの。その利便性から現在若者に限らず多くの方が使っています。

広済寺フェイスブックページ

では、ブログ更新情報

報はもちろん、日常の出来事について

でも時折紹介させていただ

いた



います。ブログと違って気軽に読めますので是非チェックしてみてください♪
またツイッターというものもやっています。どちらもホームページからアクセスしてみてくださいね！

お知らせ

二〇一二年

除夜の鐘

十二月三十一日(月)

午後十一時四十五分より

二〇一三年

元旦会

一月一日(火)

午前五時より

御正忌報恩講

一月十五日(火)

午後二時より

一月十六日(水)

午前九時半より

午後二時より

御講師(予定)

砺波組 明覚寺

林 要昭 師

正信偈を読む会

毎月第三土曜日

午後四時より

広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※一月・二月は休会します

※月参りについて

一月一日・二日・三日の三

日間はお休みさせていただ

きます(祥月命日は除く)

編集後記

年末恒例となった京都清水寺で発表される「今年の漢字」。

今年の漢字は「金」でした。

オリンピックでのメダルラッシュ、

山中教授のノーベル賞。東京スカ

イツリー。様々な分野で金・字・塔

が打ち立てられました。

その一方、別団体によつてこんな漢字も発表されました。

「主婦が選ぶ」今年の漢字。

一位は「忙」。主婦の皆さんは家事だけでも大変なのに仕事もこなすとなると更に大変。「忙しい」のも頷けます。

そして二位は「忍」。忙しい毎日の中で様々なことに耐え忍ぶ生活。主婦の皆さんは大変です。続く三位は「苦」「苦しい」。ここまでくると、主婦の方に申し訳なくなつてきます…。

世間が「金」に浮かれる中でも、主婦の皆さんが身をもって訴える現実的な「今年の漢字」に、主婦の強さを感じた年の瀬でした。